



—学校・保護者・地域とともに子どもたちの未来を創造する—

教育委員会だより

「住むんだったら」「学ぶんだったら」「教えるんだったら」つがる市がいい！

第10号

令和6年5月

つがる市教育委員会



雨に負け 風にも負けつつ生きてゐる 柔らかき草 人を坐らす

つがる市教育委員会 教育長 山谷 光寛

新年度が始まり約2か月。

子どもたちも大人も新しい学校、学級での生活への新鮮さが薄れ、そろそろ疲れが出てくる頃なのではないでしょうか。世間では5月病なるものが頻繁に語られますが、できることならばいつも通りの平穏な毎日を過ごしたいものです。

さて、私事ではありますが、私は幼い時から何をやっても周囲の人に劣る自分の姿に辟易して過ごしてきました。理想とする姿を周囲の人に見つけては、駄目な自分に情けなさを感じながらも仲間や先生に励まされ、自分を叱咤激励して自分なりに努力をしてきたつもりです。

微々たる努力と我慢の日々の間に身につけていたものは、弱者の中の強い心であり、それを私は雑草魂と呼んでいます。

学校では、自分の存在意義を知りたい子どもや自分のポジションを築けない子どもたちが少なからずいて、それぞれが不安を抱えながらも自分なりに努力をし続けています。目立たないけれども、ゆっくりと努力をし続けている子どもはたくさんいます。

ゆっくりと、私はこれが大切なのではないかと考えます。

現代の子どもたちの人生は100年といわれます。平均寿命と健康寿命が延びることから、私たち大人よりも長い人生を歩むことになるはずですが。

長い人生の中での義務教育9年間。この期間に子どもたちは多くのことを学び、経験し人生の土台を作り、また目標も定めていくことでしょう。短いけれど、とても大切な時期です。

これまで私たちが過ごしてきた時代とは異なる将来の予測が困難な時代を生き抜いていくことになる子どもたちには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和がとれた「生きる力」を育むとともに、社会の急激な変化に柔軟かつ主体的に対応できる力を身につけさせていかなければなりません。しかし、これを急ぎすぎはいけません。しかし、これを急ぎすぎはいけません。

義務教育の期間は、ゆっくり、じっくりと落ち着いて、それぞれの子どもたちに力を蓄えさせ伸ばしてあげたいものです。「急いては事を仕損じる」という言葉がありますが、せわしなく、急激に変化していく社会の流れを意識しながらも、少し落ち着いて子どもたち一人一人の変容に目を向けた教育活動を展開したいものです。これからも、つがる市内の学校が、すべての子どもたちにとって、安心してゆっくりと腰を下ろせるような場所であってほしいと願っています。

保護者の皆様、今年度も各校の学校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。教育委員会は子どもたちの健全な成長に向けて、各校を支援してまいります。

今年度の主な取り組み

「未来を担う人と文化を育むまちづくり」を目指して、各課の主要事業の中から、主な取り組みを紹介します。

教育総務課

- ① 教育委員会の事業等を市 HP や教育委員会だよりを通じて情報発信をします。
- ② 学校施設の修繕や学校給食施設・設備の整備改善をします。
- ③ 教育施設の充実のために、教材整備や通信環境の充実を図ります。
- ④ 通学路の安全対策、保護者への経済的支援、スクールサポーターの配置、地元食材の活用や食育等による安心安全で豊かな教育活動を推進します。
- ⑤ つがる市型コミュニティ・スクールの充実を図り、学校と地域が一体となった学校づくりを推進します。
- ⑥ 市内5つの中学校区に設置した小中一貫教育校の取り組みを支援します。
- ⑦ 教育委員会と学校が一体となって学校における働き方改革を推進します。

指導課

- ① 確かな学力の育成のため、授業が充実したものとなるよう指導・助言を行います。
- ② つがる市型小中一貫教育の三本柱「グローバル科」「つがる市型郷土学」「キャリア教育」の充実のために、各校の取り組みを支援します。
- ③ 教育上特別な支援を要する幼児児童生徒の障がいの種類・程度について、調査・検査を行い、その結果をもとに適正な就学を検討します。また、小・中学校ともに自校通級及び巡回指導による通級指導教室において、児童生徒へ効果的な指導を行います。
- ④ 困り感を抱える児童生徒を支援するために、教育支援センター（相談事業・通所支援事業）を運営します。
- ⑤ 教職員の資質向上のために、各種研修会を開催します。

社会教育スポーツ課

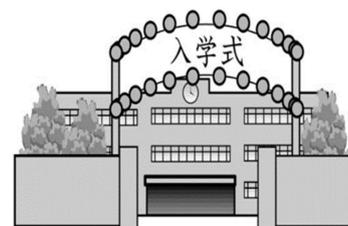
- ① 子育て支援や支援者の人材育成など家庭教育に関する事業に取り組みます。
- ② 地域と学校が協働で子どもたちを育てていく地域学校協働活動事業に取り組みます。
- ③ キャリア教育の推進や青少年の人材育成等青少年活動の支援に取り組みます。
- ④ 公民館を利用した市民講座や長寿大学の開講等生涯学習活動の支援に取り組みます。
- ⑤ 市立図書館を活用した各種講座開設及び読書関連事業の実施に取り組みます。
- ⑥ 総合体育館を中心に賑わいを創出するスポーツタウン活性化事業に取り組みます。
- ⑦ つがる市型のより効果的な部活動の地域移行に向け検討を進め、地域全体でスポーツや文化活動を支える体制作りに取り組みます。

文化財課

- ① 遺跡活用団体と連携して、世界文化遺産に登録された亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚におけるイベント及びボランティアガイド養成講座やフォーラムを開催します。
- ② 史跡の公有化や整備のための基本設計及び発掘調査報告書の刊行に取り組みます。
- ③ 展示替えした縄文住居展示資料館カルコをはじめとする市内資料館の情報発信に努め、学校教育等での多様な活用を推進します。
- ④ 伝統芸能の保存継承を図るため、発表機会の充実とともに保存会の活動や後継者育成の支援に取り組みます。

令和6年度がスタートしました

4月7日(日)～8日(月)に市内各小・中学校で、入学式が行われ、令和6年度の教育活動がスタートしました。今年度の小学校新1年生は昨年度より25人減の174人、市内全児童生徒数は昨年度より46人減の1,705人(5月1日現在)です。全ての子どもが、健やかに、そして夢に向かってがんばれるように、学校、家庭、地域及び教育委員会が連携して取り組んでまいります。



【小中一貫教育校一覧】

一貫校区分	学校名	校長	教頭	学級数	電話
第1学区	木造中学校	工藤 歩	岩見 浩平	12学級 (内 支援学級2)	42-3250
	向陽小学校	平川 公明	出町 雄 (深浦町立いわさき小学校より)	15学級 (内 支援学級4)	42-2063
	穂波小学校	蒔苗 元紹 (鶴田町立鶴田小学校より)	菊地 和恵 (西北教育事務所より)	8学級 (内 支援学級2)	49-2100
	瑞穂小学校	山舘 伸太郎 (青森市立原別小学校より)	泉 真一郎 (五所川原市立五所川原小学校より)	10学級 (内 支援学級4)	42-6161
第2学区	森田中学校	竹内 明人	工藤 康 (深浦町立深浦中学校より)	5学級 (内 支援学級2)	26-2074
	森田小学校	浅利 忠	佐藤 昌輝 (弘前市立東小学校より)	8学級 (内 支援学級2)	26-3001
第3学区	柏中学校	蒔苗 尚文 (中泊町立中里中学校より)	長内 郁典 (県総合学校教育センターより)	7学級 (内 支援学級2)	25-2021
	柏小学校	永原 信哉 (五所川原市立中央小学校より)	佐藤 典弘	14学級 (内 支援学級3)	25-2001
第4学区	稲垣中学校	大和 克彦 (深浦町立深浦中学校より)	加藤 博規	5学級 (内 支援学級2)	46-2022
	稲垣小学校	小枝 晃嘉 (五所川原市立五所川原小学校より)	蒔苗 浩正	8学級 (内 支援学級2)	46-2004
第5学区	車力中学校	梅津 知己	番場 亜由美 (五所川原市立市浦中学校より)	4学級 (内 支援学級1)	56-2023
	車力小学校	佐々木 綾子	澤田 尚希	8学級 (内 支援学級2)	56-2004

令和4年度から取り組んでいるグローバル科、郷土学及びキャリア教育を柱とする「つがる市型小中一貫教育」は本年度で3年目となったところです。取組の様子は、各校の学校便り等を通じて情報提供されますので、ご覧ください。

教育委員会からお知らせ

□つがる市実用英語検定受験料補助事業

つがる市型小中一貫教育の三本柱の一つである「グローバル科(外国語・国際理解)」の取組を通して、令和7年度までに中学校卒業段階で、英検3級レベルの生徒を70%以上にすることを目標にしています。教育委員会では生徒の英語力を高める取組として、今年度も実用英語検定受験料補助事業を行っています。お子さんの英語力を高めるために、チャレンジさせてみてはいかがでしょうか。

各級の受験料と補助金額は、以下のとおりです。

- ◇ 5級 2,500円 (1,000円補助)
- ◇ 4級 2,900円 (1,000円補助)
- ◇ 3級 5,000円 (2,000円補助)
- ◇ 準2級 6,100円 (2,400円補助)
- ◇ 2級 6,900円 (3,000円補助)

□夏休み体験講座（参加費無料）

① 「土器づくり体験」

対象 市内在住の小中学生(保護者同伴可) 先着 40名

日時 8月3日(土) 13時30分～15時30分 松の館

内容 陶芸用粘土で縄文土器をつくります。完成した土器は、講師が窯で焼き、参加者へ9月頃お渡しします。

持物 手拭きタオル

申込み・お問合せ先 7月11日(木)～7月29日(月) 文化財課 0173-49-1194

② 「縄文遺跡ジュニアガイド体験」

対象 市内在住の小学3～6年生及び中学生 先着 20名

日時 8月6日(火) 13時00分～16時00分 松の館及び遺跡現地

内容 松の館で、縄文遺跡に関する基礎知識の講義を受け、その後遺跡へ移動。遺跡ボランティアガイドの解説を見学した上で、ガイド解説の実践にチャレンジします。

申込み・お問合せ先 7月11日(木)～8月2日(金) 文化財課 0173-49-1194

教育委員の紹介

成田悦雄委員(教育長職務代理者)が任期満了に伴い、鎌田常芳氏が教育委員に就任しました。



平田 昌子 委員



帯川 圭太 委員



佐藤 勢津子 委員



出町 義成 委員



鎌田 常芳 委員

(教育長職務代理者)